

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)さいたま市北区宮原町計画	階数	地上15F
建設地	埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	576 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2018年9月7日
敷地面積	5,108 m ²	作成者	長谷工コーポレーション
建築面積	1,392 m ²	確認日	2018年9月7日
延床面積	10,741 m ²	確認者	長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 57% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 57% (92 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 57% (92 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.4

Q2 サービス性能: 3.2

Q3 室外環境(敷地内): 2.7

LR1 エネルギー: 3.7

LR2 資源・マテリアル: 2.9

LR3 敷地外環境: 3.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 地域環境や街並みとの調和を図りつつ、地域の景観となるようエントランス付近の緑化に努めている。 省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮し、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 界壁の壁厚を180mm以上とし、Dr-50を目標値に設定。 告知対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅性能表示において、共用部維持管理対策等級2基準劣化対策等級3相当。 各住戸で100Mbpsクラスのブロードバンド利用可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の配置・形態・植栽計画を、地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 潜熱回収型給湯器エコジョーズ・LED照明を採用し、エネルギーの有効利用を図った。 断熱等性能等級4相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 二重天井を採用し、資源の再利用に配慮している。 環境負荷の抑制を促進し、地球環境負荷の低減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場、バイク置場を100%以上確保することで周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される